

CSRレポート 2015

当行のCSR(企業の社会的責任)活動を
わかりやすくご紹介しております。
是非ご覧ください。

特集

20年間にわたる
紀陽銀行の文化振興活動。

紀陽コンサート

支店活動 レポート

魅せます、地域と響きあう支店力
この街で、
今日をこえる未来の絆を

社会的責任 (CSR) を果たすための 紀陽フィナンシャルグループの取り組み

地域金融機関として地域社会やそこに住む人々に、もっと貢献したい。

それは普通の業務の中で提供できるものはもちろん、

通常の業務以外でも、きっとたくさんあるはずだと、私たち紀陽フィナンシャルグループは考えています。


当グループでは「お客さま」「地域社会」「株主さま」「従業員」に対して様々な活動を行っています。

地域の人々と関わり、地域の環境を豊かにするために地域金融機関としてどのような社会的責任を

果たしていくかを定め、ひとつひとつの課題に取り組んでいます。

※CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)

CSR活動の方針	取り組み課題	2015年の各種取り組み施策
 お客さま との共生！ お客さまにやさしいサービスを提供する P9▶11	ご相談窓口の拡充	お城の前の相談室／ハートフルプラザ／年金相談会、資産運用セミナーの実施 など
	役立つ情報の発信	ハローサービスセンター／紀陽ビジネスクラブ／[LINE@]を通じた情報発信 など
	地域ビジネスのサポート	公的支援活用の推進／海外ビジネス支援／事業承継支援／経営相談／販路拡大支援／産官学連携の推進 など
	お客さま満足の向上	〈キヨー〉ふれあい倶楽部／インターネット投資信託／CS向上施策／紀陽エンジョイ倶楽部Club Off／バリアフリー化への取り組み／ネットワークの拡充／ATMサービスの充実／ブランディングプロジェクトの推進 など
	安心できるお取引きの推進	ユニバーサルサービスの推進／高抗磁化通帳の導入／振り込み詐欺防止 など
 地域社会 との共生！ 地域社会の持続的発展をお手伝いする P12▶14	地域密着型金融の推進	紀陽6次産業化ファンド・わかやま地域活性化ファンドの創設／大規模災害対策に向けた支援／人材確保支援／地方創生の支援 など
	文化や芸術活動への貢献	紀陽コンサートの開催／美術館・博物館への無料招待(紀陽文化財団) など
	金融教育の実施	中学生向け教育支援／金融教育「MoneyConnection®」の実施／高専・大学での講義／インターンシップの受け入れ／職場見学の受け入れ など
	環境保全への取り組み	熊野古道の道普請活動／企業の森事業／環境保全業界団体への参画／世界遺産定期預金の取扱い／環境関連金融商品の取扱い など
 従業員 との共生！ 従業員が働きやすい環境を整備する P15▶16	人材育成の強化	新入行員研修／階層別研修／職務別研修／OJTの取り組み強化／自己啓発サポート など
	モチベーション向上施策の実施	総合職エリアコースの新卒採用／信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入 など
	働きやすい職場づくり	一般事業主行動計画の策定／配偶者出産休暇制度／半日休暇制度／メンタルヘルスケア体制の強化／セクシャルハラスメントの排除／ダイバーシティ推進室の設置 など
 株主さま との共生！ 株主さまに信頼される経営を実行する P17	経営における透明性の確保	web、冊子等での情報開示の充実／各種IR説明会の実施 など
	堅実な経営の継続	安定配当の維持／自己株式の取得 など
	経営態勢の整備	コンプライアンスの遵守 など



紀陽フィナンシャルグループ行動憲章

1. 公共的使命
5. 従業員の人権の尊重等
2. 法令やルールの厳格な遵守
6. 環境問題への取り組み
3. 質の高い金融サービスの提供
7. 社会貢献活動への取り組み
4. 社会とのコミュニケーションの推進
8. 反社会的勢力との対決

紀陽フィナンシャルグループの誓い

お客さまへの誓い

株主への誓い

地域社会への誓い

特集

Kiyo Concert

紀陽コンサート

クラシック音楽を通じて
地域の方々と感動を分かちあう
20年間にわたる紀陽銀行の文化振興活動。



紀陽コンサートの歴史

紀陽文化財団が設立された平成7年に第1回目が開催された「紀陽コンサート」は、今回で40回目の公演となりました。わが国の著名な指揮者・交響楽団・演奏家を招き、クラシックの魅力と堪能できるプログラムとして展開しています。

過去の開催内容 (平成17年度以降を掲載)

年度	回数	開催日	主な出演者
平成17年度	21	17年 9/10	大阪センチュリー交響楽団 他
	22	18年 1/28	吉田恭子・白石光隆 他
平成18年度	23	18年 9/9	大阪センチュリー交響楽団 他
	24	19年 2/3	田中靖人・前田綾子 他
平成19年度	25	19年 9/8	大阪センチュリー交響楽団 他
	26	20年 1/19	森 麻季・山岸茂人
平成20年度	27	20年 9/13	大阪センチュリー交響楽団 他
	28	21年 1/12	今井信子・伊藤 恵
平成21年度	29	21年 9/5	大阪センチュリー交響楽団 他
平成22年度	30	22年 9/4	大阪センチュリー交響楽団 他
	31	23年 2/6	田部京子・矢部達哉 他
平成23年度	32	23年 9/3	※荒天のため中止
	33	24年 2/5	加藤知子・江口 玲
平成24年度	34	24年 9/8	日本センチュリー交響楽団 他
	35	25年 1/27	テレマン室内オーケストラ 他
平成25年度	36	25年 9/7	日本センチュリー交響楽団 他
	37	26年 2/16	イリーナ・メジューエワ 他
平成26年度	38	26年 9/13	日本センチュリー交響楽団
	39	27年 2/14	平原誠之

一般財団法人 紀陽文化財団が、地域文化振興活動の一環として開催している「紀陽コンサート」。毎年、地域の皆さまに著名な指揮者・演奏家によるクラシック音楽の名曲をお楽しみいただいているイベントです。第40回目は、紀陽銀行創立120周年および紀陽文化財団創立20周年を記念して、9月5日(土)、6日(日)の2日間にわたり、大阪・和歌山の2会場において特別公演が行われました。指揮者・飯森範親さん率いる日本センチュリー交響楽団と、世界的なヴァイオリニスト神尾真由子さんによる華やかな調べ。2,600名以上のお客さまが、美しいブラームスの名曲を楽しまれました。当日の様様とともに、紀陽銀行が取り組む文化活動についてもお知らせいたします。

～地域に生きる企業市民としての芸術・文化振興～ 一般財団法人 紀陽文化財団とは

紀陽銀行が創立100周年を記念して、平成7年8月に設立。

紀陽銀行創立の地である和歌山県は、古い歴史に培われた文化と豊かな自然、観光資源に恵まれた地域です。ふるさとに根づく高い文化意識を守り、芸術を愛する心を新たに育てていくことは、地域に生かされ、地域を支えていく企業市民である私たちの務めという思いから、当行はこの財団法人をスタートさせました。以来、多くの皆さまに向けて音楽・美術など優れた芸術・文化にふれる機会をお届けする事業を展開しています。

「紀陽コンサート」はその主軸事業の一つであり、紀陽文化財団創立当初より20年の長きにわたり継続、リピーターのお客さまも年々増えています。

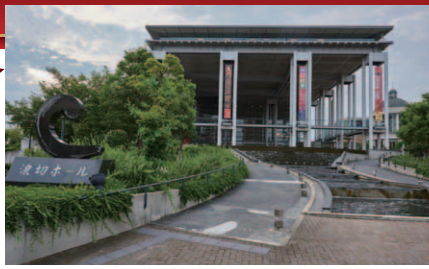
創立120年を迎えての紀陽銀行の新スローガン「銀行をこえる銀行へ」。私たちの文化・芸術振興活動にふさわしいこの言葉を心に携え、今後もよりいっそう社会貢献活動に励んでまいります。



特集
紀陽コンサート

9月5日(土) 大阪会場
来客数 約850名
岸和田市立浪切ホール
大ホール

歴史ある街・岸和田市にふさわしく、歌舞伎・能など伝統芸能の上演に対応したイベントホール。日本の古典演劇はもちろん、クラシック、ロックコンサート、バレエの上演や各種コンベンションも開催可能な多機能ホールとして市民に愛用されています。



9月6日(日) 和歌山会場
来客数 約1,750名
和歌山県民文化会館 大ホール

和歌山県を代表する大型イベントホール。県庁や和歌山県立近代美術館・博物館のある和歌山市の中核地域に建てられ、国内外アーティストによるクラシックコンサート、オペラ、ミュージカル、演劇上演など幅広く活用されています。



in Kishiwada



in Wakayama

コンサート・ノート

2つのアニバーサリーから

紀陽銀行創立120周年と紀陽文化財団創立20周年。2つのアニバーサリーが重なった今回の紀陽コンサート。和歌山会場(和歌山県民文化会館)とともに、当行の営業エリアである大阪府南部の会場(岸和田市立浪切ホール)においても特別開催されました。

紀陽銀行各支店窓口、ホームページ等を通じての参加募集告知に対して、定員を大幅に超えるご応募をいただき、両会場の来場者総計は2,600名超という大盛況となりました。お客さまの層も、10代の学生の方からご高齢のクラシックファンまで幅広い年齢層の方にお越しいただきました。

コンサート当日は、紀陽銀行経営企画部の役職員他、各部店からボランティアとして約30名の行員が集結。受付対応、会場のご案内などお客さまのサポートに務めました。

ブラームス初秋に響く

ロマン派の巨匠、ブラームスの名曲をメインに構成された今回のコンサートですが、日本の作曲家・大栗裕によるオリジナル作品「大阪俗謡による幻想曲」で幕があがりました。

クラシックの旋律に、天神祭の地車囃子や生國魂神社の獅子舞囃子を取り入れた異色のオーケストラ曲であり、今回のコンサートステージの一つである大阪にちなんだ選曲です。勇壮で躍動感あふれるメロディで、会場の熱度は一気にあがります。

次にいよいよメインディッシュ、名曲「ヴァイオリン協奏曲」が響きます。ブラームスの独壇場、ヴァイオリンの独奏とオーケストラの緊密な構成を最大の魅力とする作品。飯森氏のタクトに導かれた熟成度の深いアンサンブルに、世界的ヴァイオリニスト神尾真由子さんの超絶技がからみ、観客席は圧倒的な高揚感に包まれました。

休憩をはさんで演奏された「交響曲第1番」は、力強く優雅、荘厳で親密という対照的な要素で構成されたブラームスの傑作。クラシック音楽の魅力の総集編ともいえる4楽章が、重厚かつ流麗に綴られ、ドラマチックなフィナーレへ。アンコールで演奏された「ハンガリー舞曲第1番」まで、音楽の快楽に満たされた2時間半でした。

お客さまの声



芸術の秋、最高のプレゼントでした
高橋 律子様・麻衣子様

神尾真由子さんのヴァイオリンを生で聴ける機会は滅多にないから、と娘に誘われて来たのですが、期待以上の素晴らしい演奏でした。美術館や観劇などにも二人でよく出かけるのですが、最近では最も心を動かされた芸術体験でした。この感動を今夜、娘と話しあえるのが楽しみです。(律子様)

クラシック音楽が大好きで中学生の頃はフルートに夢中でした。神尾真由子さんのヴァイオリン、高音域の美しさは本当に鳥肌が立つほどでした。紀陽銀行さんのコンサート、これからも期待しています。クラシックのビッグネームの方をもっともっと関西に呼んでください！(麻衣子様)

ARTIST PROFILE



指揮 飯森 範親さん▶

東京交響楽団専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者などを歴任。海外で客演を重ね2001年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督に就任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞。現在、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、東京交響楽団正指揮者などを務めています。

◀ヴァイオリン 神尾 真由子さん

2007年にチャイコフスキー国際コンクールで優勝し絶賛される。BBC響、ワルシャワ国立フィル、世界の名だたるクラシック指揮者と共演、NY、フランクフルト、ミラノなどでソリストとしてリサイタルを実施。大阪府知事賞、文化庁長官表彰など数々の賞を受賞。世界で注目を浴びる日本人演奏家のうちの一人です。

日本センチュリー交響楽団

1989年に活動を開始。2014年に飯森範親氏を首席指揮者に迎える。さまざまな地域で定期演奏会、特別演奏会を実施。地域コミュニティとのプロジェクト推進や音楽を通じた教育プログラムなどにも精力的に取り組んでいます。



ボランティア 参加行員の声

感動共有型のCSRにやり甲斐

私が勤務する羽倉崎支店は、地域の火花大会のお手伝いや街の清掃作業など支店をあげてCSRに力を入れています。それとは別に、私なりに何か新しいことに取り組みたいという思いがあり、ボランティアに応募しました。芸術・文化のサポートは、お客さまと感動を分かちあえる貴重な体験です。日常業務のサービスとは違った体験を、これを機会にもっと増やしていければと思います。

～紀陽文化財団：もう一つの活動～

アートをもっと身近に

和歌山県立近代美術館・博物館と連携

和歌山城に隣接、県ゆかりの芸術作品を数多く所蔵する和歌山県立近代美術館。紀陽文化財団はこの近代美術館および博物館との連携による芸術推奨にも取り組んでいます。毎月第4土曜日を、「紀陽文化財団の日」とし、同美術館・博物館への大学生の入場料を財団の負担として無料化。

また地域の一般の方に向けては、特別展をはじめとする展覧会への無料ご招待も実施しています。

和歌山県立近代美術館



和歌山県立博物館

お客さまの思いを感じ取る感性を

小学校4年から音楽を続けていて大学時代はオーケストラでヴァイオリンを弾いていましたので、運営サポートという形でこのコンサートに関わることができたことは大きな喜びです。まだ入行1年目ですが、窓口業務などを通じてお客さまの「言葉にならない思い」を汲み取ることの大切さを学んでいます。芸術や文化を通じて地域の皆さまとふれあうことで、そういった感性が磨ければうれしいですね。



中村妙子 本店営業部

宮本祐大 羽倉崎支店

お客さまの声

すすめてくれた父に大感謝です

杭ノ瀬 恵様・友理様

クラシックファンの父にすすめられて、妹と初めてのクラシックコンサートに来ました。ブラームスと聞いて最初はもっとユルっとしたものかな、と思っていたら、迫力と臨場感にびっくり。世界がひろがった感じがします。今後は、ミュージカルや和太鼓などのコンサートも開いてほしいですね。(恵様：右)

趣味でロックのベースを弾いています。今日はヴァイオリンの生演奏に衝撃を受けました。あの小柄なアーティストの方の一体どこからあれほどのエネルギーが出てくるのか？ これからはクラシックにはまるかも知れません。きっかけをくれた父に感謝しています。次は3人で来ようね。(友理様：左)



魅せます、地域と響きあう支店力 **この街で、** **今日もこえる未来の絆を**

地域のイベントへの参加

お祭りや地域イベントでのお手伝い、
 参加を通じて地域の方々と交流を深めています。



1.本店営業部(ツナヒキ Night 2014) 2.屋形支店(屋形大通り商店街歳末大売出し抽選会) 3.和歌浦支店(和歌祭) 4.松江支店(桜鯛祭り) 5.粉河支店(さくらの丘 夏祭り)
 6.妙寺支店(かつらぎ三輪車4時間耐久レース) 7.九度山支店(九度山秋祭り) 8.橋本支店・橋本林間支店・橋本彩の台支店(まっせ・はしもと) 9.高野山支店(高野山開創1200年祭)
 10.海南支店(紀州漆器まつり) 11.海南駅前支店(ふるさと海南まつり) 12.野上支店(あまご釣り大会) 13.吉備支店(Bon de ALEC)
 14.由良支店(由良ふるさとフェスティバル) 15.御坊支店・印南出張所(印南かえるのフェスティバル) 16.南部支店(紀の国わかやま国体リハーサル大会)



17.田辺支店・田辺駅前支店(弁慶ゲタ踊り) 18.朝来支店(紀勢自動車道開通記念イベント) 19.白浜支店(砂まつり大会)
 20.日置支店(日置川鮎まつり) 21.周参見支店(イノブータン王国建国30周年祭) 22.串本支店・古座支店(ツールド熊野)
 23.太地支店(ツールド熊野) 24.勝浦支店(紀の国わかやま国体リハーサル大会) 25.新宮支店(天空ハーフマラソン大会) 26.本宮支店(ツールド熊野)
 27.泉南支店(ふじまつり) 28.熊取支店(ニッポンをミドリに!しばふプロジェクト) 29.鶴原支店(だんじり祭り) 30.泉北支店・泉大津支店(泉大津未来ビジョン商連わいわいフェスタ)
 31.狭山支店(大阪狭山市産業まつり) 32.河内長野支店(河内長野シティマラソン大会) 33.鳳支店(堺ツアーデーマーチ) 34.堺支店(堺ツアーデーマーチ)
 35.中もす支店(堺ツアーデーマーチ) 36.八戸ノ里支店(街に菜の花を咲かせよう2.12花忌) 37.高田支店(春のおかけ祭り)

清掃活動

地域の環境美化・環境保全を目指した取り組みを実施しています。



1.和歌山中央支店・和歌山市役所支店 2.水道路支店・宮北支店・太田出張所 3.東和歌山支店 4.橋向支店 5.国体道路支店 6.県庁支店 7.湊支店 8.松ヶ丘支店・西浜出張所
9.紀三井寺支店・内原出張所 10.紀の川支店 11.延時支店 12.西脇支店 13.六十谷支店 14.貴志川支店 15.岩出支店・紀泉台出張所・桃山出張所 16.打田支店 17.高野口支店
18.海南東支店 19.箕島支店 20.金屋支店 21.湯浅支店 22.岬支店 23.尾崎支店 24.羽倉崎支店 25.水間支店 26.東貝塚支店 27.岸和田支店・東岸和田支店



28.久米田支店 29.和泉寺田支店
30.和泉中央支店 31.富田林支店
32.泉ヶ丘支店・北野田支店 33.深井支店
34.東大阪支店 35.鴻池新田支店
36.平野支店 37.八尾南支店
38.住吉支店 39.上本町支店
40.大阪中央支店 41.大阪支店
42.日根野支店

店舗を使った活動

地域の皆さまの作品展示や、
季節の飾りつけで楽しい
お店づくりをしています。



1.加茂郷支店 2.箱作支店 3.五条支店

その他

営業店でできる
様々なお手伝いや
地域貢献活動を
進めています。



1.神前支店(全国交通安全運動)
2.堀止支店(振り込め詐欺撲滅活動)
3.北花田支店(献血)
4.大阪北支店(献血)
5.新大阪支店(献血)



お客さまとの共生!

お客さまに寄り添い、お客さまのご期待をこえるサービスをお届けすること。それが紀陽銀行の課題です。

もっと、つながりを
深めたい

店舗の新規開店・機能拡充

お客さまをいっそう快適に
お迎えいたします。

平成27年2月に「富田林支店」を近鉄長野線富田林西口駅近くに新築移転いたしました。「富田林支店」は平成26年10月よりランチ・イン・プランチ(1店舗で2つの支店が営業)方式により河内長野支店2階にて営業しておりましたが、住宅ローンセンターを併設した新築店舗としてオープンいたしました。

また、「岸和田支店」を旧国道26号線上野町交差点の北東側へ新築移転し、平成27年7月より営業を開始いたしました。新店舗は広くゆったりとしたロビーを設け、プライバシーに配慮した対面式カウンターや簡易応接室を増設いたしました。さらに、地域への情報発信の場となるセミナールームも店舗2階に設置し、ご利用いただきやすい駐車場も備えております。

紀陽銀行は、お客さまとの最も大切な接点である店舗網の拡充に全力で取り組んでまいります。



富田林支店



岸和田支店

ATMの利便性向上

株式会社イーネットとATM提携。
より身近で便利にご利用いただけます。

平成27年1月から、株式会社イーネットとのATM提携により、全国のファミリーマート、サークルKサンクス、デイリーヤマザキなどのイーネットロゴマークのコンビニATMで、紀陽銀行キャッシュカードによるお取り扱いが可能になりました。すでに提携済みのローソンATM、セブン銀行ATMとともに、コンビニATMによる紀陽銀行のご利用がさらに便利になりました。

また、平成26年12月からは、当行ATMの営業時間を、平日・休日にかかわらず原則午前7時～午後9時に拡大しています(一部ATMを除く)。これからも、お客さまのさまざまなライフスタイルに合わせたご利用窓口の多様性と利便性の向上を図ってまいります。



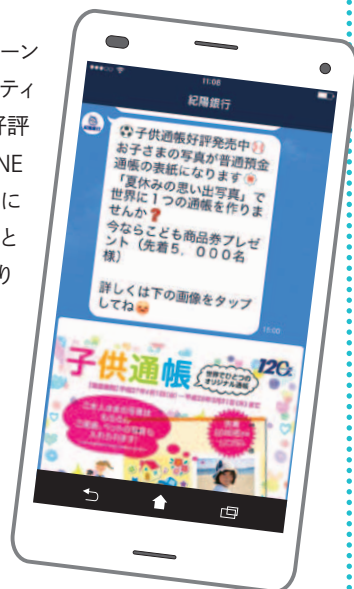
商品・サービスの新展開

「LINE@」を利用したタイムリーな
情報配信を開始いたしました。

紀陽銀行では、より時代性に富んだサービスをお客さまに提供すべく、さまざまな取り組みを行っています。

「友だち登録」をいただいたお客さまに、タイムリーなお役立ち情報を配信できるスマートフォン用コミュニケーションアプリ「LINE@」。平成26年11月から「LINE@」のアカウントを開業いたしました。

紀陽銀行のお得なキャンペーンや地域のニュースなど、バラエティあふれる情報配信によってご好評をいただき、平成27年9月にはLINE@友だち登録者が約3,950人へのぼりました。今後も、お客さまとの絆を深める新たな施策に取り組んでまいります。



もっと、
ご満足を高めたい

ブランディングプロジェクト

新たな決意表明となる ブランドスローガンを作成いたしました。

平成27年5月に創立120周年を迎えた紀陽銀行は、新たな決意表明とブランドイメージ向上を図るブランディングプロジェクトに取り組みました。

ブランディングプロジェクト展開にあたっては、生活者の皆さまからいただいたお声などをふまえ、今後、当行が目指す理想の銀行像を表現した「ブランドスローガン」を作成いたしました。新たなスローガンは「銀行をこえる銀行へ」です。平成27年1月より、支店掲出のポスターやテレビ・ラジオCMなどによって地域の皆さまに向けて発信しております。

また、当行の決意をより詳細にお伝えする「ブランドステートメント」も作成し、ポスターなどに掲載いたしました。

銀行をこえる銀行へ



■紀陽銀行のロゴマークとブランドスローガンを組み合わせたタグラインを、名刺デザインなどに反映しています。

田中理恵さん出演の ブランドイメージCMを放映いたしました。

新しいブランドイメージをお伝えするテレビCMを、平成27年1月からテレビ和歌山、関西テレビ、毎日放送にて放映いたしました。CMには紀陽銀行のイメージキャラクターである元体操選手、田中理恵さんが出演。紀陽銀行の行員も多数出演し、全員が空高くジャンプする姿に「お客様の期待をこえていこう」という当行の思いを託しました。BGMには、「コブクロ」の楽曲「陽だまりの道」を採用いたしました。コブクロのお二人は、デビュー前から和歌山県で数多くのライブ活動を行っている県内にゆかりの深いアーティストであり、地域の絆によって生まれたCMとなりました。



ブランディングプロジェクトに参加した行員の声

お客さまと紀陽銀行をつなぐ
架け橋になれた! と、
信じています。

営業統括部
営業戦略企画担当
前山 碧



当行のブランディングプロジェクトに取り組み、企業メッセージの策定やプロモーション活動に携わりました。今後の企業目標と決意をワンメッセージに託したブランドスローガンと、詳しく表明したブランドステートメントを作成しましたが、その過程で大勢のお客さまの声にふれ、当行に持たれているイメージや期待度について多くを学ばせていただきました。CM制作では、お客さまとの共通の話題を育めるよう、日頃お客さまと接する支店行員の皆さんに出演してもらい、行内外で好評をいただきました。イベント協賛なども従来に増して力を入れ、地域文化の活性化により貢献できたと思います。こういったPR活動が将来の営業基盤拡大や、若い方々へ向けた当行の知名度向上などの成果につながることを信じていますね。

CS向上への取り組み

お客さま満足度向上の さらなる徹底化を図ってまいります。

紀陽銀行では、お客さまの満足度を高めるためのCS活動に日々取り組んでおります。各支店において「CSリーダー」が中心となり、お客さま対応や身だしなみ、店内清掃などの点検・総括・改善の話し合いを定例化。また、各支店での取り組みの中で効果的と思われる好事例については、行内に情報を還元するなど、CS活動の評価とレベルアップにつなげています。

平成27年度は、新たなブランドスローガン「銀行をこえる銀行へ」の実現に向けて、活動のさらなる充実を図りました。新たな展開として、お客さまにお待ちいただいている時間に、さまざまな情報の提供やコミュニケーションを図れる「CS待ち札」などの新しいアイデアを導入いたしました。



お客さまとの共生!



経営サポート室

もっとビジネスを 応援したい

経営改善・経営戦略・海外進出のサポート

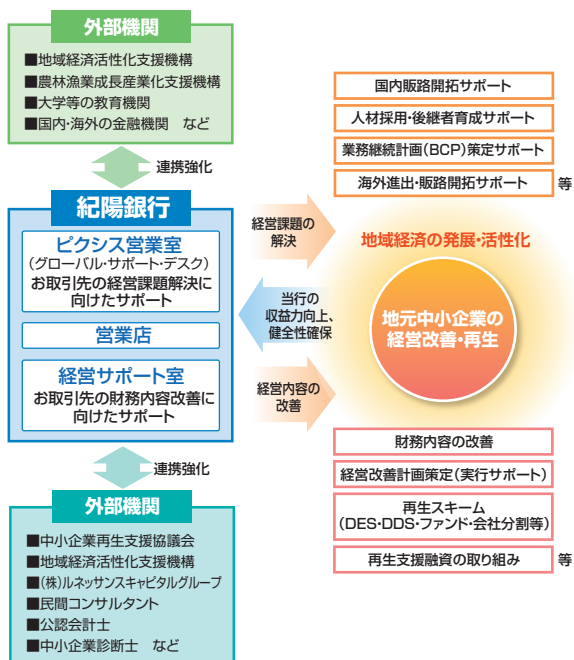
お客さまの課題解決や挑戦を 専門スタッフとネットワークで お手伝いします。

地域経済を牽引しておられる中小企業の皆さまをサポートすることは、地域金融機関の重要な課題という認識のもと、専門スタッフを擁した二つの経営支援部門を設け、お取引先からのご相談にお応えています。

その一つ「経営サポート室」は、経営改善に取り組まれている企業をお手伝いするセクションです。経営改善計画策定のサポートから、事業再生支援のための融資取り組みまで、民間コンサルタントや中小企業再生支援協議会などの外部機関と連携し、支援力を強化しています。

一方、経営戦略や事業承継などの課題をお持ちのお客さまを支援するセクションとして「ピクシス営業室」を設けています。さまざまな領域の実務知識を持つスタッフと多分野にわたる外部専門機関とのネットワークによって、販路開拓やビジネスマッチング、後継者育成・人材育成などについての具体的なお提案に務めるほか、産官学連携による技術・知識財産の共有化を推進し、中小企業の新製品・新事業開発のご支援にも力を入れています。

また、紀陽銀行では、中小企業の皆さまに需要が高まって



いる海外進出のコンサルティングにも注力しており、その専門窓口として「ピクシス営業室」に「グローバル・サポート・デスク」を設置しています。現地の経済状況の情報提供、外国為替業務のサポートを中心としたサービスを提供するとともに、外部専門家を招いての「海外ビジネス個別相談会」を無料で開催し、個々のお取引先のニーズに応じた海外販売ルート、パートナー企業のご紹介なども行っています。

さらに、海外の有力金融機関との業務提携を通じて、お取引先への現地市場情報の提供や、資金調達のサポート体制を確立。国際協力銀行(JBIC)との連携によるクロスボーダーローン等、海外向けファイナンスの支援体制なども整えています。



ピクシス営業室

BCP策定のサポート

地域の災害リスクに備えて BCP策定の支援に力を注いでいます。

BCP(business continuity plan=事業継続計画)とは、予期せぬ災害・事故などの発生時、限られた経営資源により事業活動を継続するか、または一定時間内での再開を可能にするために事前に策定する行動計画を言います。紀陽銀行の営業エリアである和歌山県・大阪府は「南海トラフ巨大地震」や「東海・東南海・南海3連動地震」による甚大な被害が予想されている地域であり、本格的な災害対策とBCP(事業継続計画)が急務とされています。

こういった背景から、当行ではグループ会社である紀陽リース・キャピタル株式会社との連携により、お取引先に向けたBCP策定支援に取り組んでいます。和歌山県・大阪府にて、お取引先を中心とした事業主や従業員の方々を対象に、大規模地震対応模擬訓練を実施。株式会社富士通総研とのパートナー契約による災害対応コンテンツを活用し、経営戦略の観点に立ったBCPの策定や実効性向上をサポートしています。

また、大規模災害対策に向けた支援を目的とした金融商品として、平成26年10月には「南海トラフ地震対策ローン」の取り



大規模地震対応模擬訓練

扱いを開始いたしました。このローンは、南海トラフ地震発生時に被害が想定される地域の事業者の方を対象に、耐震建物への建て替えや耐震診断にかかる資金、津波避難施設の建築資金などをサポートするものです。



地域の成長と発展のために、
これまでの銀行の領域をこえた活動に挑みます。

未来の担い手を 応援したい

中学生
に向けて

学生に向けた教育支援

**ビジネスマナー講習や職場見学により、
子どもたちのキャリア教育を
サポートしています。**

紀陽銀行では、地域の子どもたちのキャリア教育の支援を目指して、和歌山県内の中学校においてビジネスマナー講習や職場見学を実施しています。

平成26年10月15日には、桐蔭中学校において当行行員がビジネスマナーについて講義を行い、3年生約80名が参加され、社会人としてのあいさつ、身だしなみなどについて学ばれました。

また11月12日には、向陽中学校の生徒の方々7名が当行を訪問され、本店営業部を見学。銀行の業務内容や仕事のやりがい、地域社会への貢献活動などについて、行員との質疑応答が行われました。



ビジネスマナー講習

高校生
に向けて

**「お金・働くこと・人生設計」について
考え、学ぶ機会を提供しています。**

紀陽銀行では、若い世代への金融教育の一環として、金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」の実施に協賛しております。「MoneyConnection®」は、若者の労働意欲と経済意識を高めることを目指して、社会に出る前の高校生を対象に「お金・働くこと・人生設計」について考えるきっかけを提供する日本初の金融基礎教育プログラムです。

このプログラムの公認実施団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会との提携によって、和歌山県内と大阪府南部の高校において認定講師による出張授業を展開して



「MoneyConnection®」授業風景

おり、平成26年度は14校で実施、2,105名の高校生が参加しました。平成25年度からの累計参加人数は約3,600名に達しています。

金銭教育という分野は、金融機関としての知見を最も発揮できる領域です。今後も、このプログラムを通じて地域の未来を担う若い世代への教育支援に力を注いでまいります。

大学生
に向けて

**銀行の知見と人材を活かし、
生きた経済・経営学の啓蒙に
努めています。**

金融機関の知見を活かし、大学教育の領域でも支援活動に取り組んでいます。次世代の産業界を支える人材育成を目指す「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山県が展開している学生向けの実践的なビジネス教育に参画。和歌山大学において、当行役員が「和歌山企業トップ経営論」と題して現場の経営学の講義を行うなど、地域経済活性化に向けて即戦力となりうる社会人の育成サポートに取り組んでいます。

大学生
に向けて

**インターンシップの
受け入れにより、
職務体験の場を提供しています。**

例年、地元学生の皆さまへの職務体験の場としてインターンシップの受け入れを行っています。今回も平成27年8月17日から20日までの4日間、12大学から20名が参加されました。

参加された学生の皆さまには、コンサルティング型営業をグループワークにより体感いただいたほか、営業店での実習体験、当行行員へのインタビューなどにより、金融業界と地方銀行への理解を深めていただきました。今後も、若い世代の金融ビジネスに対する理解と興味促進に向けて取り組んでまいります。



インターンシップ

地域経済の発展を 支えたい

地方創生の支援

自治体による「地方版総合戦略」を 多様な施策により サポートしてまいります。

平成26年12月に閣議決定した国家プロジェクト「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、全国の地方自治体では地方創生のための「地方版総合戦略」を策定することになりました。この戦略には地域金融機関の積極的な関与が期待されています。

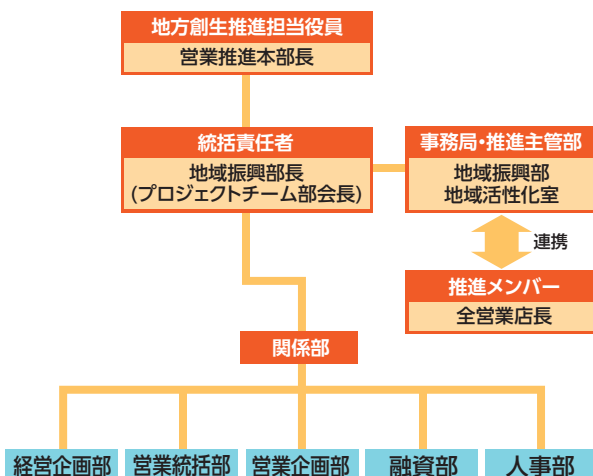
紀陽銀行では、地域金融機関としての知見とネットワークを活用した「地方版総合戦略」の策定及び推進への全力サポート、地元企業の経営課題解決に向けた産官学労一体での支援に取り組んでまいります。

①「地方創生推進プロジェクトチーム」の始動

平成27年4月より、地方創生支援に向けた行内体制を整備し、「地方創生推進プロジェクトチーム」を組成いたしました。営業推進本部長、地域振興部長の下に地方版総合戦略にかかわる6つのセクションを置き、全営業店長を推進メンバーと位置付けております。

現在、初動的な取り組みとして「地方版総合戦略」策定にあたっての自治体へのヒアリングなどの情報収集・分析を中心とした活動を展開しています。今後も産官学労との連携を強め、戦略の支援に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。

◆地方創生推進体制図(本部プロジェクトチーム+営業店)



②「創業者支援総合スキーム」の取り扱い開始

平成27年4月27日より「創業者支援総合スキーム」の取り扱いを開始いたしました。「創業者支援総合スキーム」は、地域の新たな事業者に対する総合的なサポートを目的としたものであり、内容としては「紀陽創業者支援ローン」および株式会社日本政策金融公庫との協調融資の取り扱い、さらに和歌山県と和歌山市中小企業融資制度による創業関連資金の低金利融資の取り組みの総称となっています。

利用者ニーズに合わせた選択性の高い金融商品群であり、地元での創業をお考えの多くの皆さまにお役立ていただきたいと願っております。

③「紀陽イノベーションサポートプログラム」の実施

平成27年9月1日より、地域の事業者の研究開発を支援する「紀陽イノベーションサポートプログラム」を実施いたしました。新しい事業展開を目指して大学や研究機関と共同開発に取り組む事業者の皆さまから「研究開発テーマ」を募集し、優れたテーマに対して支援を行うものです。

支援内容は、専門家による事業計画の策定や研究開発の課題解決、研究奨励金の分割支給など多面的なものであり、研究開発テーマの革新性・実現可能性・市場性などが選定の評価基準となります。

本プログラムを通じて、地域における産官学連携推進、また日本の良き「ものづくり」精神の再生、活性化に貢献してまいります。

「地方創生推進プロジェクトチーム」に参加する行員の声

地域の方々と ビジネスの夢を共作する 喜びを感じています。



地域振興部 地域活性化室
朝日 啓太

地方創生支援の一環である「わかやま地域活性化ファンド」に携わっています。ファンドからの出資により地域に新会社を立ち上げる取り組みで、銀行はビジネスモデルの構築段階から立ち会い、事業を支援していきます。こういった取り組みは、1案件に年単位の時間がかかるケースも珍しくありませんが、当初は机上のものだった案件が形となり動き出す瞬間の感動は形容し難いですね。ファンドの第1号案件である県内のまちづくり会社への出資が今年10月に決定し、一つ達成感を得ました。地域活性化室では現在、各自治体が考える地域の将来像を戦略的にサポートする活動を始めていますが、今後は事業者支援、観光振興、移住促進といった各施策との連携を強めることでよりダイナミックな動きにしていきたいと思っています。

地域の美しさを 守りたい



「紀陽の森」保全活動

環境方針

「環境にやさしい金融機関」としての 姿勢と行動をつらぬいています。

紀陽銀行は、企業市民としての「環境方針」を明らかにし、地域の環境保護活動への参画や環境保全に寄与する金融サービスの提供などに取り組んでいます。

環境方針

すばらしい自然環境に恵まれた地域とともに
歩む紀陽銀行は、環境にやさしい金融機関を
めざし、以下のとおり取り組みます。

1. 環境に関する法律、規制、協定などを遵守します。
2. 環境に配慮する活動は重要な経営課題であると位置づけ、環境に配慮した活動の情報開示に努めます。
3. 企業活動に伴う環境への影響を配慮し、省エネルギー・省資源により環境への負荷の軽減に努めます。
4. 金融商品・サービス情報等の提供を通じ、環境に配慮するお客さまの取組みを支援します。
5. 環境方針を全役職員に徹底し、地球ならびに地域環境の保全に配慮して行動します。

世界遺産の保全活動

熊野古道を守るための 修復活動に取り組んでいます。

「熊野古道」は和歌山県が誇る世界遺産ですが、年間を通じて雨量が多い地域にあり、台風などの被害にもたびたび見舞われています。また、同じ世界遺産でも、修復に専門技術が必要な寺社などとは違い、一般の人も修復作業にかかわれるという特徴を持っています。こうしたことから、紀陽銀行では役職員のボランティア参加によって熊野古道参詣道の傷みの修復活動を展開してきました。

平成24年より、道普請(土の補充)を中心とした活動を継続し、世界有数の自然価値・文化価値の継承に貢献しています。



「企業の森」事業への参加

木の国・和歌山の 森林保全活動に参加しています。

緑豊かな「木の国」でもある和歌山を未来へ残すため、和歌山県では「企業の森」事業として、企業のCSR活動参画による森林環境保全を行っています。紀陽銀行は、この「企業の森」事業に平成18年より参加。和歌山県日高川町の「紀陽の森」で、行員やその家族の手によってヤマモミジやヤマザクラ、コナラなどさまざまな種類の苗木約3,300本の植樹を行ってきました。

また、毎年、役職員よりボランティアを募り、下草刈り活動を実施。企業市民として、ふるさと和歌山の美しい自然を次の世代へ伝えていく活動を継続しています。

文化保全に寄与する金融商品の取り扱い

観光・文化資源の保全に貢献する 定期預金を取り扱っています。

紀陽銀行では、地域の観光・文化資源の保全につながる金融商品の開発と販売にも力を入れています。その一つが、和歌山県の熊野古道の保全を支援する「世界遺産定期預金～紀伊山地の霊場と参詣道～」です。この定期預金は、お客さまからお預け入れいただいた総額の0.01%相当額を、和歌山県世界遺産協議会へ寄付させていただくことにより、「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用にお役にいただくものです。

もう一つが、世界遺産登録を支援する「世界遺産登録応援定期預金～百舌鳥・古市古墳群～」です。こちらは、大阪府にある「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録に向けた機運の醸成と環境の整備を目的に、お客さまからお預け入れいただいた総額の0.01%相当額を堺市世界文化遺産登録推進基金に寄付させていただく定期預金です。

今後も地域社会への貢献につながる商品とサービスの開発に努めてまいります。





従業員との共生!

優れたサービス、新たな価値を発信していくために、
行員一人ひとりが全力を発揮できる職場を目指します。

行員の成長と活躍を 応援したい

輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会

**女性の活躍に向けて、
全国の地方銀行が
共同声明を発表しました。**

平成26年11月、紀陽銀行を含む全国地方銀行協会会員全64行の頭取参加のもと、「輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会」を発足させ、「行動宣言」を策定・公表いたしました。行動宣言では、「自ら行動し、発信する」「現状を打破する」「ネットワーキングを進める」の3つの柱を軸に、女性活躍に関する目標の設定、組織の意識や働き方の変革、地域社会への働きかけなどを行っていくことを掲げています。今後は、この宣言に基づき、研究会や意見交換会を実施していく予定です。

紀陽銀行では、行動宣言に基づき、女性行員のキャリアデザインに対応したコース制度の柔軟な運用、女性の職務領域拡大や管理職の育成・登用などに一層力を入れて取り組んでまいります。

キャリア支援制度の充実

**インターネットによる自己啓発支援を
推進しています。**

紀陽銀行では、行員一人ひとりが金融のプロとして意識を高め、能力を伸ばしていけるよう、キャリア・サポートの充実に注力しています。マネジメント力の向上や業務スキルの習得、公的資格取得に向けた試験対策ができる「休日セミナー」の開催をはじめ、様々な自己啓発支援を展開しています。その一つが、インターネットを利用した「KIYO Smart Banker」です。

「KIYO Smart Banker」は、営業支援や資格取得支援、ビジネススキル向上のためのセミナー動画の配信等、多様な学習コンテンツをインターネットを通じ、自由に活用できる自己啓発支援システムです。



休日セミナー

平成25年に導入され、多くの行員に利用されてきましたが、時代背景やトレンドに合った新コンテンツを随時追加しています。

引き続き、地域のお客さまに優れたサービスを提供するため、行員のスキルアップと成長を支えてまいります。

◆KIYO Smart Banker コンテンツ(一部抜粋)

◎営業支援
・ABL(動産・債券担保融資)の基本
・融資審査ガイド680業種
・営業店のための医療・介護向け取引推進事典
・NISA(日本版ISA)制度紹介
・投資商品の解説動画(一部抜粋)
◎資格試験対策
・証券外務員受験対策講座
・FP受験対策講座
◎休日セミナー
・経済セミナー
・資金繰り表を活用した提案力向上セミナー
・女性営業担当者のための営業スキルアップセミナー
◎ビデオライブラリ
・ビジネススキル(基本・ロジカルシンキング・キャリア等)
・マネジメント(基礎編・強化編)
・営業・窓口(営業スキル強化)
・パソコンスキル(ITリテラシー・MS Office講座)
・コンプライアンス(ケースで学ぶ個人情報漏洩防止)

人づくり、職場づくりを 企業価値につなげたい

ワーク・ライフ・バランスの実現

**仕事と家庭の両立など、
働きやすい職場づくりが
高く評価されています。**

紀陽銀行では、仕事と家庭の調和がとれたライフスタイルが、行員のサービスや行動の質を高めていくという考え方から、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。平成20年には「配偶者出産休暇制度」を導入。平成22年には育児休業期間を1年半まで延長。平成27年7月には、保育料補助手当の新設や、育児短時間勤務制度をより利用しやすく改定する等、仕事と家庭の両立支援を推進してきました。

このような取り組みの結果、平成24年には厚生労働省主催の「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門で、和歌山労働局長優良賞を受賞。また、平成25年には厚生労働省から「子育てサポート企業」として認定を受け、「くるみんマーク」を取得しています。

今後もこのような取り組みを継続し、従業員一人ひとりがキャリアとライフスタイルを両立し、能力を発揮できる職場環境を目指してまいります。



ダイバーシティ推進室の開設

**多様な人材を活かし、
企業価値を高めてまいります。**

平成27年1月、人事部内に「ダイバーシティ推進室」を設置いたしました。ダイバーシティ(diversity)とは、従業員それぞれの違いを尊重し、積極的に活かすことにより企業価値を向上させる取り組みのことを言います。

当行では、従来より女性の職域拡大や積極的な登用をはじめとする「ポジティブ・アクション」や仕事と育児の両立支援を推進してきましたが、今後、「ダイバーシティ推進室」はこのような取り組みをより一層加速させていきます。

平成27年の取り組みとしては、3月に従業員組合と「女性のカジュアル・ミーティング」を共催し、育児に携わる女性行員と仕事と家庭の両立や育児に関する意見交換を行いました。また、同月より、結婚・配偶者の転勤等を理由に、退職した行員の再就職を支援する「地銀人材バンク」に参加しています。

今後も行員のキャリア支援を推進し、人と企業の可能性を高めていくセクションとして活動してまいります。

ダイバーシティの推進に取り組む行員の声

**行員の満足度、
お客さま満足度をともに
高めていきたい。**



人事部
ダイバーシティ推進室
森本 亜希

ダイバーシティ推進室では、「仕事と家庭の両立支援」「女性の活躍推進」に特に力を入れて取り組んでいますが、私はその中でも育児休業者の職場復帰支援と自己啓発セミナーの企画を行っています。育児休業者への支援については、「KIYO Smart Banker」を活用し、育児休業中においても資格取得のための勉強やセミナー動画を視聴できる環境を整えています。今後はさらにコンテンツの充実を図り、さまざまなニーズに対応していきたいと考えています。自己啓発セミナーについては、平成27年度より、女性行員を対象とした休日セミナーを新たに開講し、9月には女性営業担当者向けに「営業スキルアップセミナー」を実施いたしました。受講した行員から、今後受講したいテーマ等について多くの意見が集まり、担当者として大きな手応えを感じています。

紀陽銀行では、多くの行員がお客さまと接しており、ダイバーシティの推進が、多様なサービス・お客さま満足度の向上につながると捉えています。これからも、多様な働き方、キャリアプランの実現を支援してまいります。



株主さまとの共生!

責任ある企業態勢づくり、積み重ねてきた歴史と
堅実な成長で、株主さまの信頼にお応えしています。

まっすぐ正しく、
向き合いたい

情報開示の充実

正確で適切な情報開示を
さまざまな方法で行っています。

情報の正確かつ適切な開示は、お客さまの信頼を預かる金融機関として、また株主の皆さまへの責任を担う企業として、何よりも優先的な課題です。定時株主総会、決算説明会など投資家の皆さまに向けた説明会、また経営諮問委員会などを通じて、経営情報を積極的に公開しています。

また、法定ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌、ホームページなど、情報公開方法の多様化も早期から実践しており、株主・投資家の皆さまはもちろん、広くステークホルダーの皆さまに向けた経営の透明化向上に取り組んでいます。

◆IRカレンダー

5月	決算発表
6月	機関投資家向け決算説明会(東京) 定時株主総会 ミニ・ディスクロージャー誌発行 期末配当金支払い
7月	ディスクロージャー誌発行 地元株主向け会社説明会(和歌山、大阪)
8月	第1四半期決算発表
11月	Annual Report発行 第2四半期決算発表
12月	ミニ・ディスクロージャー誌発行
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表



コンプライアンス態勢の充実

法令等遵守を重視した態勢の
さらなる強化を図っています。

紀陽銀行は、高い企業倫理の構築をミッションとし、コンプライアンス(法令等遵守)を重視する企業風土の醸成を重要な経営課題ととらえています。その実現のため、手引書となる「法令等遵守マニュアル」を全役職員に配布するとともに、年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を制定し、研修や定期的な自己点検を通じて行員一人ひとりが法令等遵守意識を高めることができるよう図っています。

また、弁護士など専門知識を持つ第三者で構成された「コンプライアンス委員会」を設け、法令等遵守に関する提言や当行の対応に対する客観的な評価を得ることができる環境を整えています。

さらに、金融商品取引法に則った勧誘・販売ルールの遵守を掲げた「金融商品の勧誘に関する方針」を定めるとともに、個人情報の保護についても「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を定め、適正な取り扱いに努めています。

安定的な配当の維持

適切な内部留保の充実を図りつつ、
安定的な配当と成長を維持しています。

紀陽銀行は平成18年より公的資金を受け入れていたが、平成25年9月にその全額を返済いたしました。

また、平成25年10月には紀陽銀行と紀陽ホールディングスが合併、紀陽ホールディングスの上場が廃止され、紀陽銀行が東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。

強くシンプルに生まれ変わった企業体制により、機動力とスピードを発揮し、地域の経済発展に貢献するとともに株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。

なお、平成27年3月期の配当は、普通株式1株につき前期から5円増額し、年間35円をお支払いさせていただきました。

株式価値の向上

自己株式の取得により、
一株あたりの価値向上に努めています。

自己株式の取得を適時に行うことで、株主の皆さまの一株あたりの価値の向上に取り組んでいます。平成27年度においても800,000株の自己株式の取得を予定しております。今後も、利益水準の維持と向上を図りながら、株主の皆さまへの還元の実現を図ってまいります。

創立120周年を迎えた紀陽銀行。 これからも、地域とともに、お客さまのために。

Profile

※平成27年9月30日現在

■会社概要(株式会社紀陽銀行)

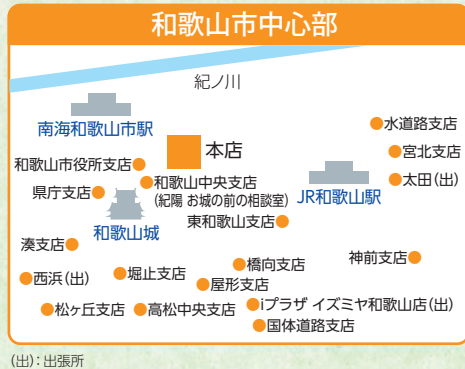
- 設立日 明治28年5月2日
- 所在地 和歌山県本町1丁目35番地
- 資本金 800億96百万円
- 店舗数 109店
(和歌山県68カ店(インターネット支店を含む)、大阪府38カ店、奈良県2カ店、東京都1カ店)
- 従業員数 2,413名(出向者を除く)
- 上場証券取引所 東証第一部

■ネットワーク

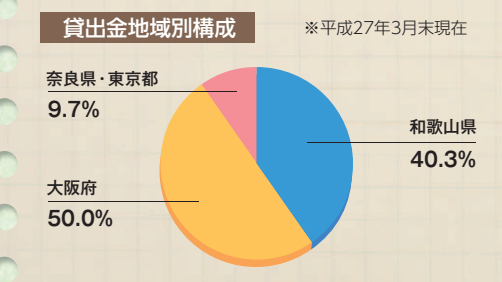
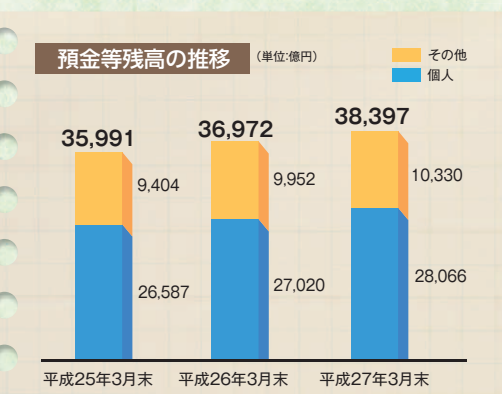
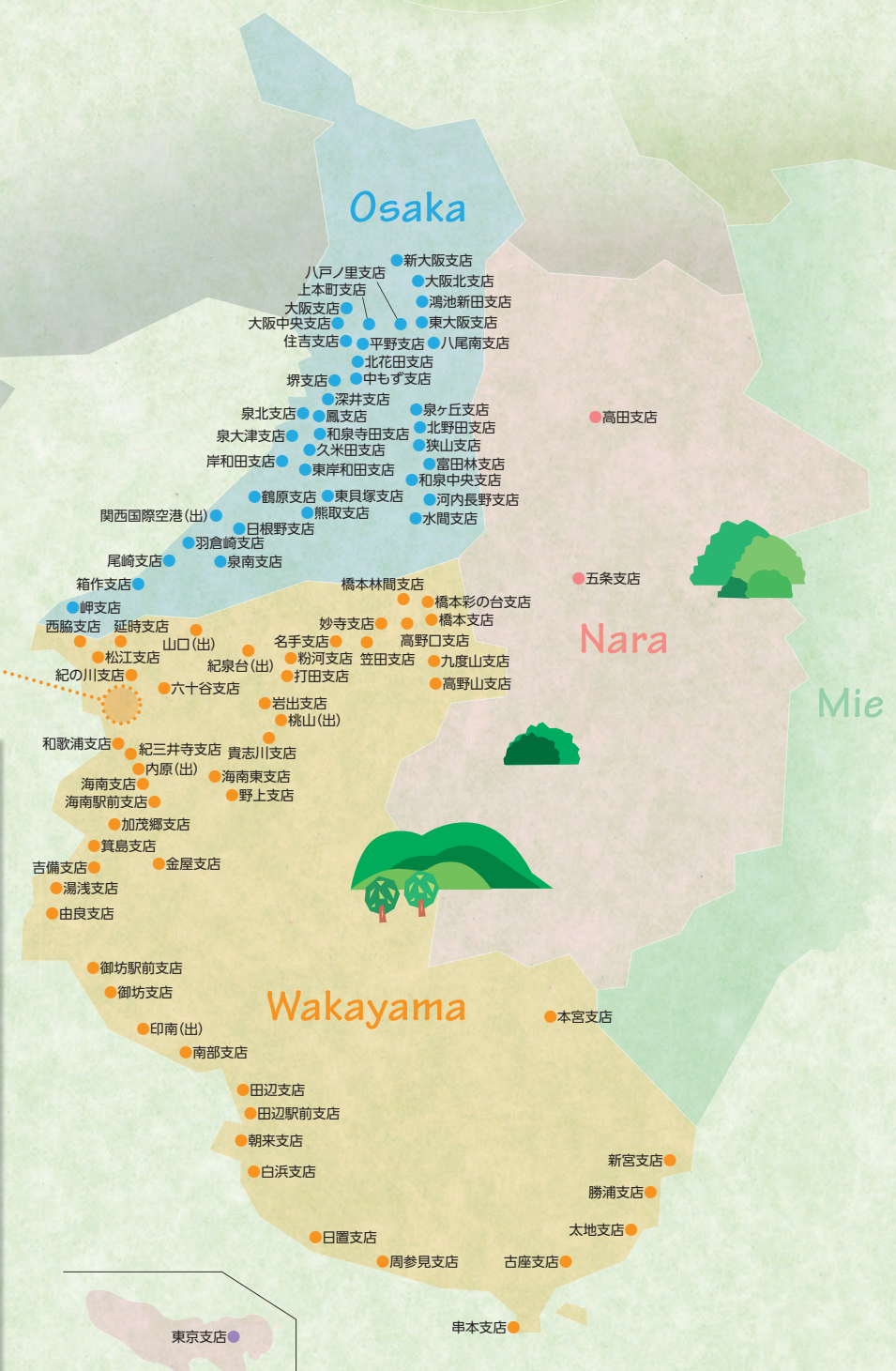
	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	115
大阪府	38	47
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	109	164

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インスタプラットフォーム「iプラザ イズミヤ和歌山店出張所」、外資両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9カ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



■紀陽フィナンシャルグループ



銀行をこえる銀行へ



紀陽銀行

<http://www.kiyobank.co.jp/>

平成27年10月発行
株式会社 紀陽銀行
経営企画部 広報・CSR推進室
〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地
TEL.073-426-7133



このレポートには、地球環境に配慮した古紙含有率70%の再生紙と、
大気汚染を抑制するノンVOCベジタブルインクを使用しております。

※VOC…揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)の総称。
2006年4月1日より、大気汚染防止法でのVOCを含む有機化合物の排出規制が始まっています。